

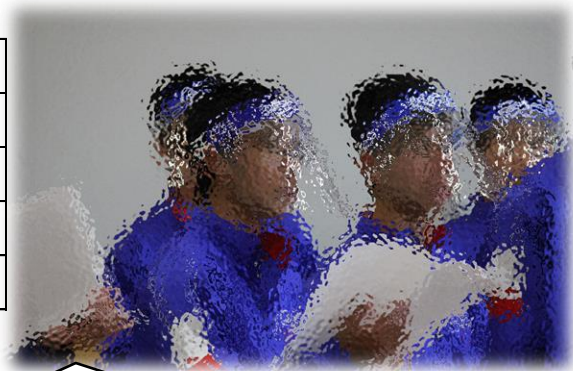
合唱祭が大成功！

「城北の地で 思いをのせて贈る詩」のローグンのもと、10月30日(金)に合唱祭が行われました。約3週間前からの練習の中で、音楽の時間だけでなく、昼休みや放課後も使って全力で合唱練習に取り組んできました。どのクラスも合唱祭実行委員や指揮者・伴奏者・各パートリーダーなどのリーダーを中心に一生懸命練習をしてきました。その成果を大変すばらしい歌声で表すことができました。多くの制限がある中、保護者の皆様からご来場いただきました。新しい試みの合唱祭につきまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。



結果は以下の通りです。

1年生		2年生		3年生	
1組	優秀賞	1組	最優秀賞	1組	最優秀賞
2組	優秀賞	2組	優秀賞	2組	優秀賞
3組	最優秀賞	3組	優秀賞	3組	最優秀賞
4組	優良賞	4組	優秀賞	4組	優秀賞
5組	優良賞	※グランプリ 3年1組			



2年生の練習の様子です。全校生徒がフェースシールドを購入し、練習に臨みました。感染症対策でいろいろな制限のある中、生徒は本当にがんばりました。例年以上に心に響いた合唱が披露できました。



3年生のみ学年合唱を披露しました。合唱曲「リアルビクトリー」を歌いました。パラリンピック選手に向けた応援ソングです。とてもメッセージ性のある歌声に、1・2年生も圧倒されました。「校歌」「城北の地で」など、早く全校で歌える日を心待ちにしたいです。



合唱祭の一番の目的は、学級・学年・全校での所属感を高め、いろいろな人を思いやり、協力しながら合唱を創り上げていくことです。日に日にクラスのまとまりが見られ、とても良い雰囲気在校舎内を包みました。

合唱祭にあわせて届いた

「城北の地で」作詞者:郡司ななえさんからのメッセージ

城北中学校、生徒のみなさんへ

新型コロナウイルスで右往左往した2020年も11月となりました、日本の四季の中で一番美しい秋、心静かに風景を楽しむ事のできる季節となりました。(中略)

さて『城北の地で』ですが、中学校創立50周年記念の時に、「誰もが楽しく歌える、城北中学校の歌を」とご依頼をいただいて、2期卒業生の私が作詞を担当させていただきました。なにしろ私は既に当時も、今もですが、みなさんのおばあさんという年齢です、時代錯誤のものを創り上げてはとも思っていて、東京のわが家から当時の盲導犬ペリラと一緒に生徒のみなさんを訪ねて、授業風景を拝見したり、生徒のみなさんとの交流の場を持たせていただいたりしました。いつまでも歌い続けられる歌の中に、具体的にどういう言葉を入れて欲しいかとたずねましたら、まず波型屋根が出てきました、ステンドグラス、ミルクコースなどとみなさんが望む言葉をいくつか得ることができました。この歌が3番目まであるのであれば、学校の朝の、昼の、そして夕方の光景を描き出したらどうだろうかと考えて、最初の段階を踏みました。また、みなさんの通学路をたどって歩いたり、学校の周辺を歩いたりもしました。まだ北陸新幹線が走っていませんでしたので、東京から越後湯沢乗り換えで直江津に出るコースを使っただけの日帰りでしたが、さまざまな中学生の学校生活の場面を、盲導犬ペリラとの10回の学校訪問で見させて、感じさせていただきました。学校以外の課外での中学生の姿を知りたくて、土曜日、日曜日にはわが家から近い中学生が友だちだけで集まれるような場所、お店を訪ねて行って、おしゃべりをしている近くで、しばらくそのおしゃべり風景を聞いたりもしました。そんなこんなでお引き受けしてから構想を練って、完成するまでほぼ1年間かかりました。作品の世界を広げていくのは、私自身が再び中学生になったような気分で楽しいものでもありました。このようにしてできたのが、今みなさんに歌っていただいている『城北の地で』なのです。この題名にはかつて、今も、未来も、この土地に立ったならば、誰もが学んだ日々を、くやしくて握りしめたこぶしを、うれしさのあまりおもわず浮かべた満面の笑顔を、そしてうれしい時も、つらい時も、くやしい時も、流した涙のいつもあたたかだった事をと、さまざまな自分に戻っていく事ができます。そしてなにより、私たちは誰もがこの地を踏んで、大人への道を出発して行ったんですよという気持ちを込めました。(中略)

立ち止まって思いを巡らす、そういう心に余裕を持つ事って、みなさんのここからの成長にはとても大切な事なのだと、だから直截的に結論など出さずにしばらくそのものを心に抱きながら、その心を転がして、思いを転がして、考えるというひとときをもつという事はとても大切な心の豊かさになります。たった1回しかない3年間の中学生生活、自信は持てない、不安定な気持ちいっぱいですが、でも心の成長はこれからのみなさん一人、一人の大きな支える力となってくれるはずですよ。

秋は実りの、そして冬は蓄えの季節でもありますね。今年は新型コロナウイルスの影響で思うような中学生生活を過ごす事ができなかった現実がありますが、でも学校に通えないだけに今までではできなかった何かがあるかもしれません。それを糧として、明日に向かってこの今を、この時を、そしてこの日々を、大切に過ごしてください。かつてその城北の地で学んだ、そしてそこから巣立って行った、私たち誰もがみなさんに強くエールを送っています。

2020年11月 郡司ななえ

継続は力なり ～家庭学習の充実を～

第3回定期テストが終了しました。今後、1・2年生は2月まで定期テストはありません。普段の授業はもちろんのこと、家庭学習がより一層大切な時期になってきました。右の写真は、月曜学習会の様子です。毎回、上越教育大学の学生ボランティアの方々から来ていただいています。50名近くの生徒が研修部活動のない月曜日の放課後を使って学習に励んでいます。(この他に、3年生は毎週金曜日の放課後に学習会を実施しています)多くの生徒が自主的に学習する姿が見られます。



さて、家庭学習の時間が少ないことが毎年のように課題として挙がります。この時期は、夏場に比べ自宅に帰る時間も早くなりました。家庭で過ごす時間の中で、メディア(スマホやゲームなど)の時間をコントロールし、家庭学習の時間を計画的に確保することが大切です。

ぜひ、ご家庭でもお声がけと生活リズムの確認をお願いいたします。

① 48時間後にはほとんど残らない

人間の記憶は、一度勉強しただけの内容は48時間で7割ほど忘れます。つまり、記憶を定着させるためには繰り返し学習が必要です。仮に、テストに出題される内容を家庭学習で勉強しておけば、テスト前に復習するだけで自然に繰り返し学習したことになります。

② 時間をかけて覚えたほうが長期記憶になる

定期テストで覚えた内容は高校入試にも出題されます。つまり、今覚えた知識は何ヶ月も先に必要な知識です。テスト前に一気に覚えた知識は、すぐに忘れます。

【参照：正しい家庭学習のやり方とは!? <https://tyugaku.net/wakaranai/kategaku.html>】



お願い 今後の自転車通学について

生徒の安全を第一に考え、学校では冬季間の自転車利用について、以下のように対応しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

○降雪予報が発表になった場合、当該日より本年度の自転車通学を停止します。

○自転車通学停止の期間は、文書もしくはPTAメールでお知らせします。

○自転車通学停止期間は、登下校だけでなく校外での利用もできる限り避けてください。

※冬期間の登下校の交通ルール・マナーにつきましては、学校でも継続して指導します。

家庭内でも話題にいただき、事故等がないようにご協力をお願いいたします。



今後の予定



11月23日(月) 勤労感謝の日	12月10日(木) 専門委員会
11月25日(水) 全校朝会 小中交流会	12月11日(金) いじめ実態アンケート
11月26日(木) 専門委員会	12月15日(火)～18日(金) 三者面談・保護者面談
11月27日(金) 同和教育公開授業	12月16日(水) 全校朝会
11月30日(月) 歯肉炎予防教室(1年)	12月21日(月)・22日(火) 教育相談
12月 3日(木) 生徒会役員選挙・演説・投票 オープンスクール 学校給食運営協議会	12月24日(木) 終業式

